

広島日米協会のパーティーでのスピーチ（2025年12月2日）

皆さま、こんばんは。

在大阪・神戸米国総領事館の広報文化交流担当領事を務めさせていただいております、ワリド・ザファルでございます。

広島日米協会の皆さまの前でお話しできること、大変光栄に存じます。

日本各地の日米協会のような団体こそが、私たちの深い「絆」を支える礎となっております。

それでは、皆さまのために、ここからは英語で続けさせて頂きます。

-----Translation starts here.

皆さま、こんばんは。大阪・神戸米国総領事館を代表し、広島日米協会のクリスマス祝賀会に参加できることを大変光栄に思います。

皆さまの温かい歓迎に心より感謝申し上げます。また、私と同じく日米両国の絆の強化に尽力されている皆さまと時間を共にできることを嬉しく思います。

まず初めに、今回のパーティーを企画して下さった山本会長をはじめ、広島日米協会の皆さんに、心から感謝申し上げます。

今回は私にとって2度目の広島訪問となります。着任から数週間後、グラス大使とともに平和記念式典に参加するという栄誉を賜りました。光栄に思うと同時に、身が引き締まる思いがいたしました。式典は非常に感動的で、広島が世界に発信する希望と和解の力強いメッセージに心を打たれました。

毎年 12 月に開かれるこの祝賀会は、私たちが 1 年を振り返る機会でもあります。

2025 年は日米関係にとって画期的な年となりました。先日のトランプ大統領の訪日は、日米同盟の強さと戦略的重要性が新たな高みに達した今年の集大成となりました。

大阪では、2025 年大阪・関西万博の成功に貢献することができました。米国パビリオンは多くの方々にご来場いただきました。全国の日米協会の皆さんにもお越しいただきました。

今年は歴史的な年となりましたが、来年は米国の建国 250 周年という、さらに大きな節目を迎えます。全米、そして世界中で行われるこの記念行事は、米国の国民が自国の歴史や価値観を振り返るだけでなく、私たちの国の歩みを形作ってきた友情やパートナーシップ、特に日本の皆さんとの深い絆を祝う機会となります。

本日ご出席の皆さんにも、ぜひこの特別な記念行事にご参加いただきたいと思います。

広島は伝統と革新が交差する都市です。

平和と復興の象徴であると同時に、産業と技術の中心地でもあります。

グローバルなサプライチェーンが進化する中、広島の優れた人材は、私たちの共通の繁栄と安全保障の未来を形作る重要な役割を担っています。

広島は、未来を担う技術分野でリーダーとしての存在感を急速に高めています。マイクロロン社が広島工場に大規模な投資を行ったことは、この地域が世界の半導体産業の中心となる可能性をはっきりと示しています。

こうしたパートナーシップは、経済的な節目であるだけでなく、広島が持つ能力、ビジョン、可能性を世界にはっきりと示す証でもあります。

人と人とのつながりは、日米同盟の根幹です。広島平和記念公園とパールハーバー国立記念公園の姉妹公園関係は、私たちが過去から学び、より良い未来に向けて協力できることを示す力強い象徴です。

最近では、太平洋を隔てた両国の学生や市民同士の交流が、相互理解を深めるとともに、新しい世代が平和の担い手となるきっかけにもなっています。

私が8月に広島を訪れた際、市役所で松井市長とともにイベントに参加しました。市長は、初めて日本を訪れたハワイの学生たちの体験談に耳を傾けていました。多くの方々にとって一本日ご出席の皆さまもそうでしょうが——初めての訪問が生涯にわたる交流の始まりとなったことを思い出させてくれるひとときでした。

広島日米協会の皆さまには、今後も若いリーダーたちに働きかけ、日米パートナーシップの未来を形作る機会を提供していただきたいと願っています。

最後になりますが、皆さまの温かい歓迎と、本日お話しする機会をいただいたことに、改めて感謝申し上げます。年末が近づき、また米国が建国250周年を控える今、平和、友情、そして前進への誓いを新たにしましょう。

手を携えて、日米両国、そして世界の人々のために、より明るい未来を築いていきましょう。本日はありがとうございました。皆さまが素晴らしいホリデーシーズンと、平和で実り多い新年を迎えられますよう心からお祈り申し上げます。

-----Translation ends here.

ありがとうございました。